

令和8年8月3日

富良野広域連合消防本部

119番通報受付スマートフォン位置情報アプリ what3words に関するお知らせ
(令和8年8月10日運用開始)

「what3words」は、世界を3メートル四方の正方形に分割し、それぞれの正方形に3つの単語の固有の組み合わせからなる「what3words アドレス」を割り当て、位置情報を共有するアプリケーションです。たとえば、[///いちじき。かがやく。くうはく](#) は、十勝岳連峰の登山道にある3メートル四方の位置を指します。山岳地帯又は屋外などの住所がない場所での災害発生時には、災害発生地点の特定に時間を要します。そのような災害発生地点の特定に時間を要し位置特定が困難な場合に位置情報アプリケーション「what3words」を活用し、位置情報「what3words アドレス（3つの単語）」を119番受付へ伝えることにより、即座に災害発生地点を特定することができ、緊急サービス対応をスムーズに致します。

富良野広域連合消防本部では、管轄構成市町村（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）のスマートフォンによる119番受付での位置情報アプリケーション「what3words」の通報受付を令和8年8月10日（月）9時00分から運用開始致します。

詳しくは、次のページのとおりです。

1. 【通報者が what3words アプリを利用している場合】

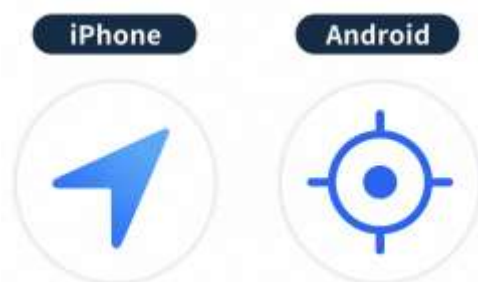
通報者の位置情報の特定が困難な場合は、最初に通報者へ「what3words アプリはお持ちですか？」と確認致します。通報者が what3words アプリを利用していない場合は、「2. 【通報者が what3words アプリを利用していない場合（FindMe Link の活用）】」の手順に従って操作頂きます。

対応手順

- ① 通報者へ「what3words アプリはお持ちですか？」と確認致します。状況により、スマートフォンのスピーカーを「ON」にして頂きます。
- ② 通報者がアプリを利用している場合は、「what3words アプリを開き、現在地の3単語アドレスを教えてください。」とご案内致します。

通報者へ現在地の確認方法をご案内する場合

画面右下の現在地アイコン（iPhone は矢印、Android は照準マーク）を押すようご案内致します。



- ③ what3words で3単語アドレスを検索し、位置情報を確認致します。
- ④ 通報内容や周辺地形などと照らし合わせ、位置情報に誤りがないことを確認致します。

2. 【通報者が what3words アプリを利用していない場合（Findme Link の活用）】

対応手順

- ① 通報者へ「what3words アプリはお持ちですか？」と確認致します。状況により、スマートフォンのスピーカーを「ON」にして頂きます。
- ② 通報者がアプリを利用していない場合は、119番受付オペレーターが what3words アプリを開き、画面左上のメニューから「位置情報リンクを共有」を選択致します。
- ③ 119番受付オペレーターは、表示されたテンプレートをコピーしてSMS（ショートメッセージサービス）を利用して「FindMe Link」を貼り付け、通報者の電話番号を宛先へ入力、そのまま送信致します。
- ④ 通報者には、送信されたSMS（ショートメッセージサービス）を開いて頂き、「FindMe Link」をタップするようご案内致します。
- ⑤ 通報者には、位置情報利用を許可する画面が表示されるので、「許可」を選択するようご案内致します。
- ⑥ 通報者には、「FindMe Link」画面中央の赤いボタンを押して頂き、GPSを更新するようご案内致します。
- ⑦ 画面に表示された3単語アドレスを通報者に読み上げてもらいます。
- ⑧ 119番受付オペレーターは、what3words で3単語アドレスを検索し、位置情報を確認致します。
- ⑨ 確認した3単語アドレスをもとに、必要に応じて通報内容や周辺状況を確認致します。

what3wordsで

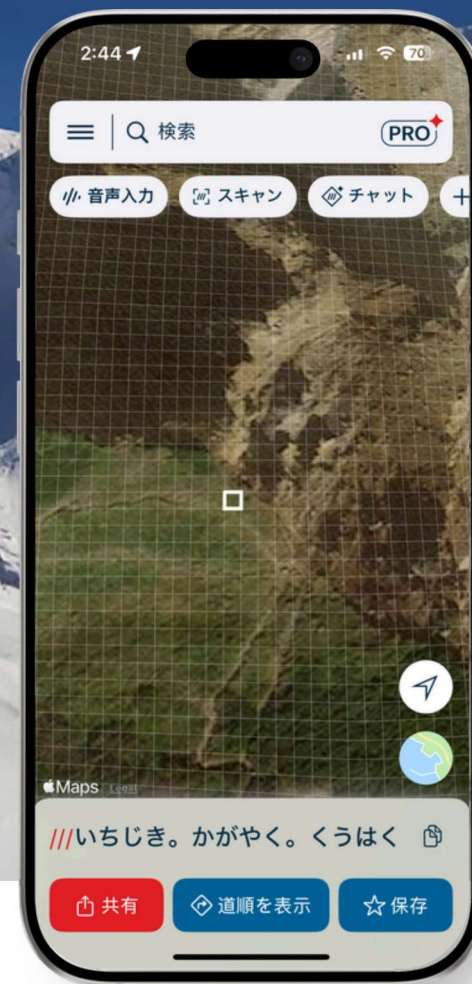
緊急サービスに現在地を正確に伝える

///いちじき。かがやく。くうはく

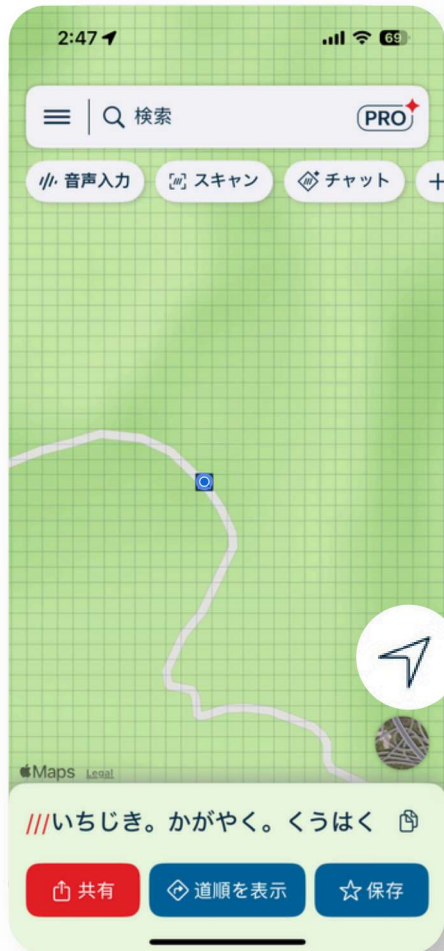
/// what3words | 富良野広域連合消防本部

what3wordsは、あらゆる3メートル四方の区画に、3つの単語から成る固有の識別子を割り当てています。

事故現場に遭遇した場合は、無料のwhat3wordsアプリを使って現在地の3つの単語を確認し、電話で通報受理担当者に伝えてください。



緊急サービスにwhat3wordsの位置情報を伝える方法

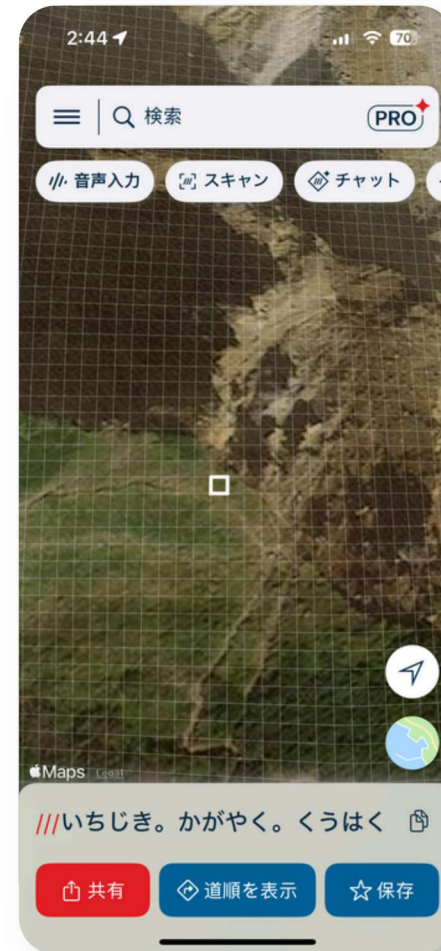


1. アプリを開く

青い点が1か所に落ちてくまで数秒間待ちます。より正確なGPS位置情報を取得するには、屋外で使用してください。

2. 現在地を確認する

iPhoneでは  を、Androidでは  をタップします。現在地を表す3つの単語が画面の下部に表示されます。



3. 3つの単語を伝える

what3wordsの位置情報を、電話で読み上げて通報受理担当者に伝えます。

これにより、救援隊は事故現場の正確な位置を特定できます。

what3words の共同創業者兼 CEO のクリス・シェルドリックは、

「富良野広域連合消防本部が、日本で初めて what3words を導入する消防本部となることを大変嬉しく思います。これは、世界各国の消防や救急の現場で what3words の活用が広がる中で、意義ある節目となるものです。観光地として知られ、アウトドアアクティビティも盛んな広範囲にわたる富良野地域では、助けが必要な場所を正確に伝えられることが極めて重要となる場合があります。what3words を使うことで、通報者は自分の正確な位置を簡単に共有でき、消防・救急隊員が一刻も早く現場に到着できるよう支援します」と述べています。